

## 第135期 中間報告書

2019年4月1日 ▶ 2019年9月30日

## HOKUSAI SUMIDA

## 株主の皆様へ



代表取締役社長

栗原 則義

株主の皆様におかれましては、平素より温かいご支援と格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当中間期は、テクノ製品事業、メディカル事業とも国内売上は堅調に推移したものの、米中間の通商問題を巡る緊張の増大や中国経済の減速などの影響により、海外においてはテクノ製品事業の高付加価値製品の売上が伸び悩み、売上高、営業利益とも前年を下回る厳しい結果となりました。下期は、この外部環境の変化に対応すべくテクノ製品事業では、海外市場への高付加価値製品の販売を強化してまいります。またメディカル製品事業においては、無痛分娩分野への新製品投入を予定しており、収益性の向上に向けてグループ一丸となって注力してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2019年11月

## 当第2四半期連結累計期間の業績について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産の一部に弱さがみられるものの企業収益や雇用環境の改善が進み、全体的には回復基調で推移しました。

しかしながら、海外においては米中の貿易摩擦の過熱や中国経済の減速、さらに日韓関係の悪化など、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような事業環境の中、当社グループは、暮らしに欠かせない文化と科学を提案するため、メーカーとして開発力、生産力、営業力の強化に取り組んでまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,567百万円（前年同四半期比3.7%減）、営業利益は64百万円（前年同四半期比72.4%減）、経常利益は45百万円（前年同四半期比81.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は22百万円（前年同四半期比87.8%減）となりました。

売上高

2,567百万円（前年同四半期比3.7%減）

営業利益

64百万円（前年同四半期比72.4%減）

経常利益

45百万円（前年同四半期比81.5%減）

親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益

22百万円（前年同四半期比87.8%減）

# 四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表 (単位：千円)

科目	当第2四半期 連結会計期間 2019年 9月30日現在	科目	当第2四半期 連結会計期間 2019年 9月30日現在
<b>資産の部</b>		<b>負債の部</b>	
流動資産	4,708,890	流動負債	1,280,889
固定資産	3,761,521	固定負債	2,533,119
有形固定資産	3,460,912	負債合計	3,814,009
無形固定資産	33,577	<b>純資産の部</b>	
投資 その他の資産	267,031	株主資本	4,679,739
資産合計	8,470,411	資本金	1,939,834
		資本剰余金	518,486
		利益剰余金	2,436,357
		自己株式	△214,938
		その他の包括 利益累計額	△23,338
		その他有価証券 評価差額金	55,577
		土地再評価 差額金	△77,128
		為替換算 調整勘定	△1,786
		純資産合計	4,656,401
		負債・純資産 合計	8,470,411

四半期連結損益計算書 (単位：千円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 自2019年4月1日 至2019年9月30日
売上高	2,567,636
売上原価	1,872,248
売上総利益	695,387
販売費及び一般管理費	630,439
営業利益	64,948
営業外収益	6,242
営業外費用	25,359
経常利益	45,831
特別損失	197
税金等調整前四半期純利益	45,633
法人税、住民税及び事業税	23,865
法人税等調整額	△927
四半期純利益	22,695
親会社株主に帰属する四半期純利益	22,695

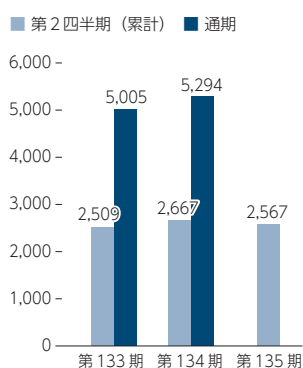
四半期連結キャッシュフロー計算書 (単位：千円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 自2019年4月1日 至2019年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	115,673
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,613
財務活動によるキャッシュ・フロー	△75,033
現金及び現金同等物の増減額	21,038
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,394,588

## 業績の推移

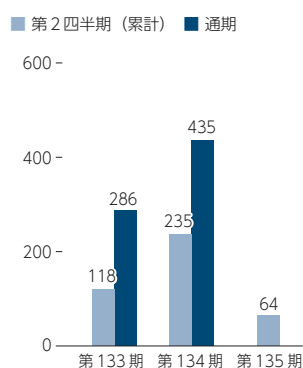
売上高

(単位：百万円)



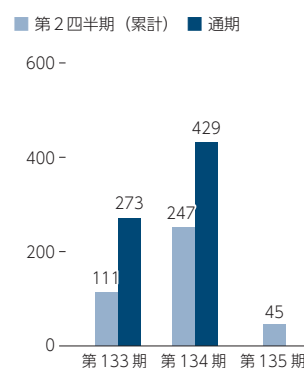
営業利益

(単位：百万円)



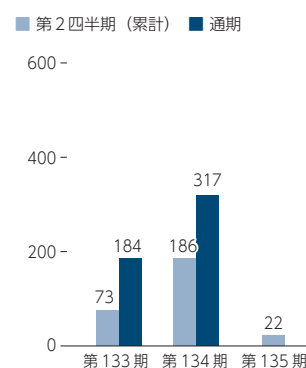
経常利益

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する

四半期(当期)純利益(単位：百万円)



# 当社の創業者である渋沢栄一が新紙幣の“顔”に選ばれました

日本政府は4月9日に日本銀行券（1万円、5000円、1000円の紙幣）を2024年度上半期をめどに刷新すると発表し、そのイメージを公開しました。新しい1万円札の“顔”には当社の創業者である渋沢栄一が選ばれました。



新しい日本銀行券（1万円）のイメージ 財務省サイトより



創業者、渋沢栄一（渋沢史料館所蔵）

## 人と社会に正しい貢献を

当社の創業者である渋沢栄一は、著書である『論語と算盤』の中で「富を成す根源は何かといえば、仁義道徳、正しい道理の富でなければ、その富は完全に永続することができぬ。」と述べています。

その理念を受け継ぐ当社は、企業の存在価値を「どんなに技術が進歩し、さらに高度な時代になろうとも、人と社会に対する正しい貢献の在り方」と考えています。

## いつの時代も、可能性をあきらめず、まっすぐに

当社は、明治・大正・昭和・平成と社歴を積み重ねてきました。その間、戦争、度重なる恐慌、大震災、戦火による全工場の焼失、中折帽子の斜陽化、石油危機、バブル経済崩壊など幾多の試練に直面してきましたが、先人たちは、誠実さと不屈の精神で活路を切り開いてきました。この誠実さと不屈の精神は、私たちの誇りであり、かけがえのない財産として受け継がれています。



東京帽子株式会社柳島分工場  
(渋沢史料館所蔵)

## 「より役立つもの、より優れたもの」を

当社は、豊かな社会づくりに貢献するため、「より役立つもの、より優れたもの」を常に追求しています。これらを実現するためには、アイデアを生み出す「企画開発」、それを実用化する「技術開発」、安定した製品を生み出す「生産技術」、より品質を高める「品質管理」のどれひとつをとっても欠かせないものであると考えています。「より役立つもの、より優れたもの」を生み出すために長年受け継がれてきた誠実さと不屈の精神で日々モノづくりに取り組んでいます。

## モノづくりを通じて拓がる未来へ

当社の社名であるAuBEX（オーベクス）は、黎明、曙を意味するフランス語の“AUBE”と可能性、未来の意味合いを持つ“X”とからなる合成語であり、「新しい可能性への曙」「拓がる未来」を意味しています。豊かな社会づくりに貢献する企業を目指し、これからも誠実さと不屈の精神をもって、モノづくりを通じて「人に想いを伝える、人の想いに応える」企業として、その未来を拓げていきます。



# 会社概要・株式の概況

## 会社概要 (2019年9月30日現在)

商号	オーベクス株式会社 AuBEX CORPORATION
本店	東京都墨田区両国4-31-11
創立年月日	1892年(明治25年)12月12日
設立年月日	1893年(明治26年)12月29日
株式上場	東証市場第2部
資本金	19億3,983万円
主な事業内容	
テクノ製品	サインペン先、コスメティック用ペン先の製造販売
メディカル製品	医療機器の製造販売
その他	不動産賃貸

## 連結子会社 (2019年9月30日現在)

オーベクステクノロジー株式会社  
オーベクスメディカル株式会社  
天津奥貝庫斯技研有限公司

## 株式の概況 (2019年9月30日現在)

発行可能株式総数	8,000,000株
発行済株式総数	3,092,623株
単元株式数	100株
株主数	1,245名
大株主の状況	

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
昭和化学工業株式会社	471,435	15.30
株式会社麻生	445,600	14.46
若築建設株式会社	423,209	13.73
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E)	316,760	10.28
株式会社みずほ銀行	135,432	4.39
オーベクス取引先持株会	87,400	2.83
三井住友信託銀行株式会社	66,600	2.16
オーベクス従業員持株会	49,533	1.60
石橋産業株式会社	41,500	1.34
井上幸雄	40,800	1.32

(注) 1. 持株比率は自己株式(12,093株)を控除して計算しております。  
2. 資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E)は、株式給付信託における当社株式の再信託先です。

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120-782-031 (フリーダイヤル) 取扱事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および 全国各支店で行っております。
公告の方法	当社のホームページに記載いたします。 <a href="https://www.aubex.co.jp/">https://www.aubex.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他 のやむを得ない事由が生じた時は、日本経済新聞 に公告いたします。)

- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 買取制度** 単元未満株式を当社に買取するよう請求できる制度です。
- 買増制度** 単元未満株式を1単元(100株)にするために必要な数の株式を買増することを当社に請求できる制度です。
- ・未払配当金の支払について  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## ホームページのご案内

当社のホームページでは最新のトピックスをはじめIR情報や財務情報など当社をご理解いただくため様々な情報を提供しています。

<https://www.aubex.co.jp/>

オーベクス

検索

